

とみとく 進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No.2
令和元年6月28日(金)

6月は中学部・高等部で就業体験活動を行いました。就業体験活動には、①校内で行う就業体験活動(校内実習)、②実際の産業現場等を見学・体験(職場体験)、③産業現場等における就業体験活動(現場実習)があります。

① 校内における 就業体験活動

中学部は1週間を年間2回、高等部は2週間連続を年間3回、校内で就業体験活動を行います。

② 職場体験

高等部1年生の3学期以降、産業現場等を見学したり体験したりします。

③ 産業現場等における 就業体験活動

高等部2年生から産業現場等で年間3回、数日から2週間の就業体験活動を行います。

卒業へ

個々の進路を決定していきます。

中学部の就業体験活動 6月3日～7日

校内(全学年)

これまでの作業学習の時間に学んだ内容の定着を図ることをねらい、一週間集中的に作業に取り組みました。日頃の授業よりも長時間の活動になりますが、生徒たちは黙々と真剣に取り組み、自分たちが立てた目標を達成しようと頑張りました。



高等部の就業体験活動 6月3日～14日

校内(1年・2年)

集中して続けるつらさを感じながらも、仕事に対して、働くことの楽しさや充実感や達成感を感じることができました。



産業現場等(2年)

初めての産業現場での実習は事前打ち合わせでの自己紹介から始まりました。期間中は直接、実習先へ通勤しました。

最初は緊張した様子が見られましたが、担当の方に仕事を教わったり、職場の皆さんに優しく関わっていただいたりして徐々に仕事にも慣れていき、普段の学校生活では経験できないことを学ぶことができました。



就業体験活動の前に、働く上で身につけたい態度や言葉の学習し、それぞれ自分の目標を決めました。終了後には、目標に対する評価、よくできたこと、次回の課題をみんなの前で発表することができました。